怪・世良・世良 ~Que,Sera,Sera~

作：清野 和也

◎登場人物　（6人・男3人、女3人）

世良修蔵（男）
浅草屋宇一郎／懸衣翁（けんえおう）（男）
桂　　小五郎／脱衣婆（だつえばあ）（男）
村娘／山本八重（女）
興行主／壺振り（女）
カラス／お駒（女）

一場　世良修蔵、三途の川に行くこと

慶応四年閏四月二〇日。あの世とこの世の間にあるという三途の川にて。脱衣婆と懸衣翁が世良の首をすごい勢いで舞台中央に持ってくる。なお、世良はこの舞台では体が見えず、生首だけが常に見える状態である。

奪衣婆＆懸衣翁　起きろ～～！！！
世良　うあああああああああ！！！！
奪衣婆　起きたね、爺さん
懸衣翁　起きたな、婆さん
脱衣婆＆懸衣翁　おはよう、お侍さん
世良　・・・夢か
奪衣婆　いひひ、夢なもんか、なあ、爺さん
懸衣翁　いひひ、これは現の続きだ、なあ、婆さん
世良　ははは！　俺は今！　生首一つ。それにもかかわらずお前ら爺と婆と話ができている。これが現だと云う方がおかしいじゃないか！
奪衣婆　夢というなら、夢見る前の
懸衣翁　現の最後を覚えているかい？
世良　・・・。俺は
奪衣婆　え、長州藩士、世良修蔵くん！
世良　世良。確かにそれが俺の名前
懸衣翁　死因は、首を斬られたこと

脱衣婆　即死だね、覚えてないか？
世良　・・・いや、覚えている。なら、ここは
懸衣翁　三途の川へ～！
脱衣婆　ようこそ～！
懸衣翁　三途の川の渡し船、船頭を努めます、懸衣翁（けんえおう）です
脱衣婆　道中を案内します脱衣婆（だつえば）です
懸衣翁　あの世まで安全運転でまいります
奪衣婆　ご不明な点などありましたら、なんなりと
世良　冗談であってくれ
懸衣翁　ワシは閻魔大王の元で働いておる。冗談も嘘もいわん
脱衣婆　言ったら、舌を引っこ抜かれちまうからな！いひひひ！
世良　俺は死んだのか？
懸衣翁&脱衣婆　正解！
世良　ここは
懸衣翁&脱衣婆　三途の川
世良　渡れば
懸衣翁&脱衣婆　あの世
世良　そうか・・・面倒をかけるな
懸衣翁　良いのよ。人はいつかは必ずし死ぬ
脱衣婆　面倒だなんて思わないさ、仕事だからな！
世良　かたじけない
懸衣翁&脱衣婆　さ、六文銭
世良　・・・！？
懸衣翁　あの世への素敵な船旅。今ならたったの六文銭
世良　六文銭！？
脱衣婆　ガイド付きで　六文銭
懸衣翁　全て手漕ぎで　六文銭
世良　六文銭：
脱衣婆　閻魔（えんま）の墨付（すみつき）　三途（さんず）河渡し　独占商売　専売特許
懸衣翁　されど吊上げ　無しの商売　良心価格　六文銭
脱衣婆　六文　六文　六文銭　掛け蕎麦　一杯　六文銭
懸衣翁　六文　六文　六文銭　あの世の　切符も　六文銭
脱衣婆　お支払いは　現金（げんなま）で
懸衣翁　さ、すぐに船を出すからねェ、さっさと出してくれ
世良　持っていない・・・

脱衣婆　何？
世良　いや！　見れば解るであろう！？　生首一つでここまで来てしまったのだ！　確かに金は懐に身につけていた。だが身につけていた体がない！
脱衣婆　爺さん！
懸衣翁　婆さん！やっちまいな！
脱衣婆　いひひひひひ！
世良　待て！　待て・・・！！　何をする気だ
脱衣婆　銭が無えなら、服をはぎ取る。それだけだ
世良　服を！？
懸衣翁　ああ、見るかい？　これが婆さんに身ぐるみ引剥された男の姿・・・

ト　　された身ぐるみを剥がされた男の写真を取り出す奪衣婆。世良それを見て

世良　なんて酷いことを・・・
奪衣婆　ヒッヒッヒ・・・まさか逃れられると思ったかい？
懸衣翁　婆さん、やっちまいな！
世良　首だけなのだ、体は無い。包む服などありはしない！！はぎ取るものなど何もない！
脱衣婆　服がないなら皮膚をはぎ取る！それだけだ！
懸衣翁　婆さん、やっちまいな！
世良　待て！待て、待て！！！生前の俺の行いを調べてみてくれ。決して地獄にいくようなことはしていない！
懸衣翁　俺たちはなぁ、服の重さでそいつの罪の重さが解るのよ
脱衣婆　六文銭も持たされない奴なんざ、ろくでもねえやつだ。そいつらから、服をはぎ取る
懸衣翁　ワシが、その服の重さを測る。そうやって調べるんだ
脱衣婆　服も着てない変態は
懸衣翁　計測不能
世良　なら・・・俺は・・・
脱衣婆＆懸衣翁　地獄行きだぁぁぁ！！！
世良　あああああ！！！！
懸衣翁　と言いたいところだが
脱衣婆　地獄も最近、いっぱいでな
懸衣翁　ほら、幕末？龍馬？新選組？だかなんだかしらねえが、あっちで、好き勝手に殺し殺され、たどり着く無数の若人達
脱衣婆　ここ２００年くらい平和だったのに、急にだもんな、爺さん

懸衣翁　あいつらだいたい人殺ししてんだわ。地獄な、急に人口、いや死人口？　増えて、大変でな～。基準緩めろって言われててな・・・

脱衣婆　できるだけあの世に送ってよってな！

世良　本当か！ならば、この河を

懸衣翁　そうは問屋がトトンがトントン

脱衣婆　降ろしやしない！

懸衣翁　ただで渡ろうなんざ甘い

脱衣婆　甘い！

懸衣翁　甘すぎる！！

脱衣婆　六文！　たったの六文だ、稼いで来な！

世良　！　まさか、生き返られるのか！？　それなら、簡単だ、すぐに！

懸衣翁　簡単？　本当に～？

世良　ああ！

脱衣婆　そのまま生き返らせるからな

世良　そのまま？

懸衣翁　今宵は新月。月が満ちる日、お前はまた、ここに来る

脱衣婆　そのときまで、六文銭。首ねっこ揃えて出すことだ

懸衣翁　それが出来なくば

脱衣婆＆懸衣翁　地獄行きだ！いひひひひひひ！

二場　世良修蔵、生首一つで現世に蘇りしこと

場面変わって、福島城下。長楽寺近くの阿武隈川河原にて。世良修蔵が現世に蘇りしは死んだその時の姿のまま、すなわち生首一つのままである。
舞台は薄暗いまま、世良が通りかかった村娘に声をかける。村娘は、手に提灯を持っており突然河原のどこから聞こえる声に少し怯えた様子

そこの女人

世良　どこからか殿方の声。いったい、どちらに・・・？

村娘　来んでも良い。少し事情があってな。六文を頂戴したい

世良　六文？

村娘　一生のお願いである！

世良　お困りであれば・・・

村娘　困っておる！　非常に困っておる！！

世良　では・・・

世良　福島の女は本当に良い奴ばかりだ・・・感謝する！

村娘、持っていた提灯で声のする方を照らし、世良の生首を見つけ

村娘　きゃ！！！

世良　待て！待て！！待てえええええ！！！！

村娘、世良を見つけ悲鳴をあげてはける

世良　くそっ！生首一つでは不気味がられる！喋ることもままならぬか。あの爺婆め！せめて体を！！

どこからか奪衣婆が現れて

脱衣婆　いひひひ！そのままと言っただろう？

世良　貴様！これではとても六文など！

脱衣婆　ガタガタ抜かすな

世良　頼む、体も戻してくれ！！

脱衣婆　お前の体はな、この土深くに埋められたようだ。ワシにはとてもとても掘り起こせない、諦めな

世良　くそっ・・・

脱衣婆　ま、せいぜい頑張りな。気楽にな！出来なかったら地獄に行くだけよ！

世良　くそ！！誰か！誰か！！六文を、六文をくれ！！六文ゥゥ！！

そこにカラスがやってくる。カラス、首だけの世良を不思議そうに見つめる

カラス　カー

世良　！？　なんだ！カラスめ、お前など呼んでいない

カラス　・・・（じっと世良を見る）

世良　お前が六文くれるというなら話は別だがな・・・

カラス　・・・

世良　お前・・・まさか・・・俺を・・・！？食うつもりか

カラス　かー♪

世良　やめろ！まだ！まだ、死んでいないのだ！

カラス　カー？

世良　いいか、俺を食ったら、地獄に落ちるぞ！！

カラス　か！
世良　解ったか！解ったら、しっ！シッ！！
カラス　かー

カラスはける

世良　クソっ、首一つでは、カラス一匹すら恐ろしい・・・！

そこに先ほどの村娘が浅草屋を連れてやってくる

村娘　浅草屋さん！浅草屋さん！！
浅草　うるせぇなぁ、こちとら、一仕事終えて寝てた所だったんだ。オメェさんの声は二日酔いにはちっと辛ェぞ
村娘　だって！生首が喋ったんだよ！？
浅草　おお、生首がなんて喋ったんだ？
村娘　六文くれって
浅草　あ？
村娘　六文くれって云うんだよ
浅草　ははは！三途の川渡しの六文か！くれてやりゃいいじゃねえか、それくらいよ！
村娘　見てないからそういうこと言えんだよ！頼むよ、浅草屋さん！
浅草　へいへい、居候らしく万（よろづ）の仕事に精を出しますよっと
村娘　ほら、あの首だよ、喋ったのは。昨日までは無かったのに・・・
浅草　そりゃ無えだろよ。昨晩、この河原で討った首だからな
村娘　討ったって、あんたあの首がなんなのか知ってるのかい！
浅草　知ってるも何も。奥羽鎮守府総督府（おううちんじゅふそうとくふ）、長州藩士、世良修蔵。仙台藩のお偉いさんの命で、このオイラ、浅草屋宇一郎（あさくさやういちろう）が討ち取ったのよォ
世良　貴様が俺を殺したのか！！
村娘　浅草屋さん！！
浅草　おっと・・・下がってな。オメェさんまで呪われちまうぞ

村娘はける

浅草　こちとら、化物退治は初めてだが。一度殺した相手、恐るるに足りねえ
世良　貴様！！

浅草　・・・どうした？かかってこねえのか？
世良　・・・
浅草　そんじゃ、オイラからいかしてもらうぜ。うラァ！！
世良　うわあああああ、やめてくれえええええ！！！

世良に斬りかかる浅草屋。世良、何も出来ずただ叫ぶ

浅草　なんだァ？
世良　やめろ！！二度まで殺すか、貴様！！
浅草　いや、ほら、生首だろ！？化物だろ！！
世良　化物じゃねえ、生きてる！！生きてるから！！！
浅草　・・・え、何、お前、動けないの？そっから
世良　・・・
浅草　・・・はーん

浅草屋、世良を真後ろから斬ろうとし、真上で止めて

世良　何だよ！！何だよ！！
浅草　今な、オメェさんの頭の真上に刀あるんだわ
世良　あ！？何やってんだよ！！何やってんだよォ！！
浅草　いやな、本当に動けないのかなぁと思って・・・
世良　動けねえよ！！動けねえんだよォ！！
浅草　なんつう化物だよ
世良　化物じゃねえよ、生きてんだよ！満月の晩までは生きてるんだ！！
浅草　オメェさん、首だけで生きてるって言えるのか？
世良　普通に喋れてんだろ！お前と！！
浅草　喋る生首たァ、コイツぁ珍しい・・・！
世良　早くあっちいけ！殺した奴の顔なんざ見たくねえ
浅草　見えてねえだろ？お前さんの後ろにいるんだから
世良　うるせえ！！
浅草　聞いた話じゃ、お前さん、六文、欲しいのか？
世良　・・・
浅草　あれか？三途の川を渡る銭っこが足りなくて、こっちに戻って来ちゃったみたいな？恥ずかしい、恥ずかし～！
世良　・・・
浅草　あげよか？六文銭？六文銭～？

世良　・・・敵の情けなど受けない
浅草　あ、そう。なら良いけどな、生首に銭っこやるやつなんているか？さっきの娘みたいに逃げられてオシメぇだぞ
世良　情けをかけてくれる者はいるはずだ
浅草　はん。ま、オイラは良いけどな。あ、このまま河原に放置されて、カラスにでも襲われて生きたまま喰われちまうんだろうなぁ・・・
世良　！
浅草　そんじゃ！

浅草屋はける

世良　くそっ・・・！

トそこにカラスの群れがやってきて

世良　！？　さっきのカラスか！群れで！？
カラス　か
世良　やめろ！やめろ！！俺はまだ生きているんだ！ふざけるな！！うあああああ！！助けてくれぇぇ！

そこに浅草屋がかけつけて

浅草　呼んだ？
世良　お前は呼んでない！
浅草　あ、そう？助けて、浅草屋さんって言ってくれたらすぐに駆けつけるから
世良　・・・
カラス　か～！！

一斉に襲いかかるカラス達

世良　うあああああ！！助けてくれぇぇ、お前ぇぇ！！
浅草　助けて、浅草屋さん
世良　助けて、浅草屋ァァァァ！！
浅草　浅草屋さんのためなら何でもします
世良　は！？
浅草　命助けてやるんだから、それくらい言えよ

世良　なんでもするから！！助けてくれよォォォォ！！！
浅草　はいよっ、と

カラスを追い払う浅草屋

浅草　不便なもんだな、首だけってのは
世良　・・・助かった
浅草　・・・
世良　何だ！！
浅草　礼の一つでもくれるもんだろ？
世良　誰が仇に！
浅草　なんでもするって言ったよな？
世良　・・・
浅草　命の恩人に嘘をついたのか～？
世良　元々は、お前が殺したからだ！
浅草　はん？このまま、置いてっても良いんだが・・・？　カラスだけじゃないだろ、野犬だの、なんだの・・・まぁ、諸々いるだろうからなくそっ、何をすりゃいい！！
世良　何、お前さんにとっても悪い話じゃねェ。喋る生首なんてこんな珍しいモンはネェ。いっちょ一儲けといこうじゃねえか、世良さんヨォ！

三場　生首一つ、見世物小屋で一儲けすること

場面変わり、福島藩の宿場町李平（すももだいら）。町の真ん中で、怪しげな見世物小屋が開かれている。その目玉は勿論、喋る生首である。見世物小屋の女興行主がタンカをきっている。

興行主　サ、サ、サ、お立ち会い、ご用とお急ぎのない方は一度はズッ！とこちらの見世物、お立ち寄り～、お立ち寄り～。世にも変わった、世にも変わった蛇女、頭が二つの兄弟に。どうぞ、ゆっくり見ておいで。福島は李平の宿場町、おみやげ話に見てから帰ってくださいね。見たり、聞いたりは知識の交換、見ないことには始まらない。
サ、ササ！今日の目玉は、これだよこれだよこれだよ、こんな兄ちゃんみたことない、人か化物か、果たして化物なのか人間なのか！しゃべる生首！しゃべる生首だ！産まれた所は、長州藩。魚屋の倅に生まれたのにネ、時代の流れかお侍

さんになったこの男。名は明かせないが結構な身分らしい。けれど親の悪事の因縁か、哀れ男は首伐られ、生首一つになったは良いが、黄泉の国にも旅立てず、生首一つ！生首一つで生きてるってんだから、いま、恥も外聞も打ち忘れ、中のお客様のお目の前、こういう姿になっても生きていると話してくれているわけだ。決して高いお代じゃございません。どうぞ、どうぞ、気味の悪いものを観ていただくのではございませんよ。ホラ、こういう、世にも変わった喋る生首、生きた生首を観ていただきたいと思います！サア、サア、入った入った、見世物、お立ち寄り、お立ち寄り～！

見世物興行終わり浅草屋が世良と共に出て来る

浅草　うはははは！儲けた、儲けた！三日間、よく働いてくれました！世良くん、よくやってくれた！

世良　・・・

浅草　なんだ、ぶすっとした顔をして

世良　人を見世物にするなど

浅草　綺麗事言ってんじゃネェよ。あのまま河原で野垂れ死ぬよりずっと良いだろォ？

世良　蛇を喰らう女に、双頭（そうとう）の兄弟、ダルマ女、象男に人間ポンプ。ここで働かされている他の者たちの事を想うと心が痛む。話してみれば、皆、心根（こころね）が綺麗なものばかり。無理に働かされているんだ

浅草　あのな。ここで働いてる奴らはみんな必死に生きてんだ。お前さんにどうこう言われる筋合いはネェんだよ

世良　こんな金もうけは、社会に毒でしかなかろう。新しい時代には不要なモノ。潰してしまうのが良い

浅草　見ただろ、客の顔を！お前さんが話し出した途端、阿鼻叫喚、悲鳴があがる、目をそらす。けれども、結局薄目を開けて、指の間からお前を見てる。喜んでやがったんだよ

世良　いけ好かん

浅草　好かんというなら、人の性をなんとかしてみろってんだ

世良　厳しく取り締まれば変わる

浅草　抜け穴見つけてこっそりと続くだけよ。江戸の頃だって、春画、役者絵、噺屋、籤屋、子どもの玩具に至るまで。ホラ、国芳の絵、アイツぁ痛快だったね。お上の厳しい取り締まり、抜け穴見つけて庶民は喝采よ

世良　民度が低い、それではイカンだろ

浅草　真面目だな、あんた

世良　普通だ
浅草　力抜いて生きなよ～
世良　次の満月に迎えが来るそうだ。それまでに六文を集めれば極楽へ・・・。俺は決めたぞ、浅草屋！集め終えたら、残り僅かなこの命、新しき日ノ本の為に、恵まれぬ者達の為に使おう！
浅草　へえへえ、ご立派なこった。
世良　まずはこの見世物小屋を取り壊す！浅草屋、手伝ってくれ！
浅草　嫌なこった
世良　浅草屋！
浅草　・・・そういう所だよ
世良　何？
浅草　そういうところが嫌われたんだ。お前さんが殺された理由だよ
世良　どういうところだ！！俺は正しいことを正しいと言っているだけだ
浅草　だからそういうところだって！正しいこと言えんのは、正しいこと言っても生きていられる世界にいるからよ
世良　何を言ってるのかわからん
浅草　泥まみれになって生きていると、正しいことなんざ、言ってらんなくなるんだ。大体、お前さんがそうじゃねえか。河原でカラスに襲われてる時、自分の命の仇にすがってんだ。正しいことか？そいつァ？
世良　・・・
浅草　ま！なんだって良いんだけどな、オイラにとっちゃ、お前さんのおかげで、こんなにたんまり銭っこ貰えたわけだしな！
世良　・・・いくらになった？
浅草　５００文
世良　結構な額じゃないか！
浅草　お前に２００文やるよ
世良　２００！？なんでお前の方が取り分が多いんだ！
浅草　お前さん、次の満月に死ぬんだろ？銭持っててどうすんだよ
世良　それはそうだが・・・
浅草　２００文！そら、この青い袋がお前さんの分。こっちの赤い袋がオイラの分
世良　なんで両方、お前の懐にしまうんだ！
浅草　お前、首しかないのにどうやって持つつもりだよ。ズット口の中に入れとくかい？ええ？
世良　くそっ・・・！
浅草　安心しな、人の金には手はつけねえ、黙ってはな
世良　断ったら使うのか！

浅草　無いとも言い切れ無ェな？
世良　・・・満月まで、まだ１４日ある。大切にしてくれ。今生の頼み
浅草　そうだな！せっかく生き返ったんだ、パッと遊んだら良いんじゃねえか？
世良　話、聞いてたか？
浅草　だってよ、六文だろ、渡し船は。あと一九四文もある！結構な額だぞ、コイツぁ。
使わねえって手は無ェ
世良　しかし！
浅草　お前さんが、その身で、いや、その首で、立派に稼いだ金じゃねぇか、何に使おうと勝手だろ？そいつぁ、何も間違っちゃいねぇ！汗水流して働いた尊い金だ。
酒に芝居に錦絵、春画、女遊びに遊戯に課金、何に使おうと勝手だろ？
世良　・・・そう、だな！うん、六文だけ残しておいてな・・・！
浅草　でも、あんた、酒を呑むにしたって何したって、一人じゃ動けねえな？
世良　不自由な身だ
浅草　オイラが運んでやっても良い、が・・・？
世良　お前に任せると思うか
浅草　はん？他にいんのか？
世良　・・・解った、頼む
浅草　そんじゃ、満月の晩まで移動賃・・・１００文ってところか？
世良　おい！
浅草　安い方だろ？こちとら生首を持ち歩いて過ごさなきゃならねえんだぞ？
世良　・・・
浅草　１００文な
世良　好きにしろ！
浅草　代わりに、どこか行きたい所があるなら、連れてってやるぜィ？
世良　・・・それならば。二本松城下の、遊郭「大内屋」へ
浅草　遊郭！？遊郭に行くのか！？
世良　ああ、そうだ
浅草　お前さん、首一つで・・・男って奴のサガを感じるな
世良　会いたい女がいるのだ！！
浅草　ホォ・・・惚れてたのか？
世良　・・・
浅草　良いねェ、旦那も隅には置けねぇな！
世良　しかし・・・、だ・・・
浅草　何だよ
世良　こんな姿で会っても良いものなのか
浅草　重ねる体もねえもんな！

世良　おい！
浅草　そう怖い顔なさんナ！まぁ、相手方も驚きはするだろうナァ・・・
世良　やはりヤメといたほうが良いな
浅草　だが。本当の色恋というなら。姿形じゃねえだろォ？
世良　浅草屋・・・！
浅草　任せとけ、オイラがうまくやってやるさ。行くゼェ、生首一つと遊郭へ！

浅草屋、世良はける。そこに桂が登場し興行主に話しかける

桂　誰かおるか？
興行主　・・・ああ、お客さん、もう今日の見世物は終わってしまったんだよ、すまんね
桂　喋る生首が、居ると聞いたかが
興行主　お、お客さん、耳が早いね
桂　そいつに会えるか？
興行主　残念、見世物の時以外には会わせたりはしてないんだ。
桂　頼む。長州の出、魚屋の倅・・・間違いないな？
興行主　ええ、それは本当だけどね。それでもあわせられないよ。この国のお偉いさんでもなけりゃあ！
桂　そうか。私は、（興行主にそっと名前を耳打ちする）
興行主　！？なんで、そんなお方が、あんな生首に！？
桂　大きな声を出すな。そいつはおるか
興行主　それが、ここ李平での興行が今日までででして。いや、だいぶ稼いでもくれたんで、私も引き止めたんですがね、もう見世物は懲り懲りだと、一座を出て行きまして何処に行ったかは？
桂　さっき一緒に居た男が、遊郭へ行くと
興行主　遊郭・・・！？
桂　いや、生首ひとつにもそういう本能はあるもんですかねぇ、ふふ
興行主　礼を言う
桂　あの！あの生首さんは一体
興行主　何、我が友だ。
桂　はあ

桂走ってはける

興行主　エラい人にあっちまったもんだ。こりゃ、明日から口上に仕組んじまおうかねえ

興行主もはける

四場　体も無き男、遊郭を尋ねること

場面変わり、二本松城下の遊郭「大内屋」（おおうちや）。世良の首は布がかけられ、隠されている。世良が懇意にしていたという遊女、お駒に話をしている浅草屋。お駒は田舎の遊郭にいる女性にしてはどこか品のある人物。

お駒　お前さん、ワッチに用とはなんでありんす？
浅草　実は、ある男のことで
お駒　殿達のことは、誰にも話しんせん
浅草　いや
お駒　たとえ、そのお腰の刀振るわれても話しんせん
浅草　ほォ、良い女だな
お駒　しゃれなんすな。褒めてもなんも出えへん。帰りい
浅草　聞きたいことではない。伝えなければならんことがあってな
お駒　なんどすか？
浅草　世良修蔵殿が、福島藩で殺された
お駒　・・・ほんだすかえ？
浅草　お前さんと仲良くしていたというからな。一応、伝えておこうと。おうおう、泣くな泣くな。泣くならオイラの胸で泣きな
世良　おい！！
浅草　へへ、悲しいことばかりじゃ無ェ。・・・って、あれ？（様子の変わらないお駒を見て）
お駒　・・・世良、かのさまは、とんちき（※ありがたくない客のこと）でありんした。みんなに嫌われておったから、ワッチが相手していんした
浅草　・・・あっれぇ～、おっかしいなぁ～。ずいぶんと世良さんはお前さんに熱をあげていたようだが
お駒　堅物で、冗談も言えへん・・・酒が入れば主の話ばかり
浅草　それでも長州のお偉いさん、お得意さんだったんだろ
お駒　しわ虫太郎。銭払いも悪うありんした
浅草　マジで？
お駒　公費には手をつけられんと申しんした。他のお侍さんは、平気で交際費で領収書をきられてたんよ・・・それが世良さんときたら・・・
浅草　いや、まぁ、真面目な人だったんだね、そこがまた、良いって

お駒　真面目なら真面目でこんなところで遊びに来なきゃ良いんよ。かのさまはむっつりでありりんした。おなごの扱いも知らん様子。下手でしたなァ

世良のすすり泣きが布から漏れ聞こえ響く

浅草　それでもお駒さんは、世良さんが好きでしたか！！
お駒　わっちゃあ、かのさまは、嫌でありりんした。いらんことまで話しんした・・・。・・・
まぁ、死んだというのは、むごうありんすなぁ・・・

お駒はける

浅草　・・・むごうありんすなぁ
世良　うあああああああ！
浅草　世良さん・・・
世良　浅草屋！入るぞォ！！せっかく遊郭に来たんだ、遊んでいくぞォ！！
浅草　えェ！？良いんですかい！？
世良　悲しいことがあったときは、良い酒を呑んで、良い女を抱くに限る！！
浅草　抱けねぇじゃん、あんた
世良　どっちにしろ下手くそなんだ、なくてよかった、この体！
浅草　はいはい、わかりましたよッと
世良　知らねば良かった！知らねば良かった、そのままに、地獄にでも行けば良かった！この世は地獄よ！
浅草　おい！酒に女にたらふく持って来い！！銭ならここにあるだけだそう！
世良　浅草屋、おい、そっちの袋はお前の銭じゃないのか
浅草　こんなカワイソウな旦那、放っておけますか！おうおうおう、お店の皆さんよォ、生首だからってビビんじゃねえ、しっかりこの御方は生きてやがるんだ。生首なれど、恋をする。恋をすれば、ふられもするさ！色恋沙汰、お前さん達もわからんではあるメェよ！哀れと思えば、その柔けぇ膝っこに、このお方を寝かしてやってくれィ。何、ただとは言わねえ、しっかり銭っこはこの浅草屋宇一郎が払ったらァ！今日は貸し切り、さあ、宴だぁ！！

宴で盛り上がる世良と浅草屋。一通り遊んで

世良　・・・浅草屋、酒が足りねえぞ・・・！！
浅草　長州のお人は本当に酒が強いこった
世良　奥州の酒が弱いんだ、ちっとも酔っちゃいねぇ

浅草　そりゃわかるが、銭が少し寂しくなってきましたぜ？
世良　んなもん、俺のところから少し使えば良いだろォ！
浅草　よろしいんですかイ！
世良　おうよ！！じゃんじゃん使ったれェ！大七、飛露喜、金水晶ォォ！ドンペリ、ドンペリィ！！
浅草　よっしゃ、皆のモン！　生首、世良さんの大盤振る舞いだぁ～！

二人が盛り上がるうちに夜も明けていく。翌朝。

世良　ああ・・・二日酔いだ
浅草　あんた飲んだ酒どこいってんだろうな？
世良　さあなぁ？
浅草　首一つでも二日酔いになる・・・　コイツぁ、勉強になりました
世良　くっ・・・
浅草　何だ、まだお駒ちゃんのこと引きずってんのかい？　仕方ねえだろ、終わった恋をうだうだ云うんじゃ無えよ
世良　すまない、浅草屋、お前はなんて良い奴なんだ・・・。俺を殺したのには理由があったのだろうな・・・
浅草　オイラは、福島藩に世話なってんだ。頼まれちゃ断れねそうか・・・福島藩が俺を・・・
世良　その上には、仙台がいたがなやはり我々新政府を恨んでいるのか・・・？
浅草　そりゃ、土足で勝手に人のウチ入ってきてるんだからな。会津も、何も悪いことしてねぇのに、滅ぼせなんて言うもんだから
世良　今は。日ノ本の中で争っている場合ではないのだ。異国がこの国を狙っている。それを乱そうとしているのが会津。藩主の首を差し出せば、許してやるというのだ・・・！それを！戦支度を進めてやがる。一丸となって戦わねばなるまい！
浅草　ああ、難しい話しはしらねえよ。てめえの命繋ぐので精一杯。よくわかったろ、お前さんも？　その頭の痛みがそれを物語ってるってもんだ
世良　・・・くっ・・・情けない。この命の僅かな残り火、日ノ本の為に使うと言っておきながら。己が悲しみから酒に女に溺れるとは
浅草　仕方ねェよ、にんげんだもの。今日からまたがんばりゃ良い
世良　浅草屋！！良い奴だなァ、お前は！！　気を取り直してもう一度、銭儲けだなァ！
浅草　何？
世良　六文を集めなきゃなるめぇ

世良　ん？集める？
浅草　ん？
世良　ん？？五〇〇文は？
浅草　使っちまったよ？
世良　えええ、ちょっと待って。俺の分は？
浅草　使っていいって言ったから？
世良　六文は残しておいて
浅草　残り三文だな
世良　何やってんだよォ、お前ェェェ！！！！
浅草　お前さんがドンペリドンペリ乗せられたんだろ！
世良　何やってんだよ、俺ェェェぇ！！！
浅草　また、稼げばいいじゃねえか、見世物で
世良　嫌だ！！絶対に嫌だ
浅草　そうこうしてるうちにあっという間に満月よ。三途を渡れなきゃどうなっちまうんだい？
世良　地獄行きらしい
浅草　良いのか？
世良　・・・何か、何か無いか！
浅草　そうだ・・・現実的に言えば、この三文を元手に
世良　商か？
浅草　アホ。賭け事だよ
世良　そんな悪事を！
浅草　世良さん、まさかやったことがないなんて
世良　あるわけないだろう！！
浅草　オメェさんは本当に・・・まぁ、見てなって！オイラがついてりゃ、六文なんて余裕。あっという間にまた五〇〇文よ！！行くぜェ、賭場だ！

五場　生首一つで丁か半か選びしこと

場面変わり、飯坂の賭場にて、丁半を行っている浅草屋と世良。世良は賭場の雰囲気に閉口。浅草屋は勝ちに勝って上機嫌。

壺振り　サア、サア、サア、サア！よろしゅうございますね！入りますよっと、はい、つぼ！
浅草　さあ、張った、張った！丁半コマ揃いました、勝負！イチニのハン！
・・・ははは！！笑いが止まらねえ、たった三文がアッというまに、五〇文！

世良　おい、おい！
浅草　何ですかい？
世良　早く出るぞ、こんな場所・・・！
浅草　待て待て、もう一勝負。今日は、こんなにお客さんがいるんだ。バチは当たらねえ・・・
世良　おいおい、何処に行く！
浅草　五十文を元手に、もうちぃと増やすんだよ・・・

ト客席に降りていく浅草屋。お客さんと賭け事勝負

浅草　世良さん、どうですかい？あんたも一つ
世良　誰がやるか！！
浅草　良いじゃ無ェか、ちょっとくらい。サ、サ、サ！お客さん！・・・簡単に説明しますと！このでっけぇサイコロを二つふるいます！その合計が丁、すなわち偶数か、半、奇数かをかけてもらうってこった。はい、そのマイクがわたったお客さん！サアサア、張った張った・・・！丁か！半か！お客さんは・・・！？

などと数人に声をかけ、丁半どちらもいる形にしてから

浅草　はい、丁半揃いました！ふるよ～！　勝負！！○○のＸＸ！お客さん、当たりだよ～！ってなわけで、当たったお客さんには、こちらをプレゼント～！『怪・世良・世良』の限定グッズ（などとグッズの紹介をする）。貰えなかったお客さん、安心してください、会場外でも売ってるから！限定グッズさ、毎度毎度毎度～！

ひきしきり宣伝が終わった所で、変装した桂が入ってきて

桂　その生首と一席
浅草　おう・・・？世良さんご指名だが？
世良　俺は賭け事はしない！
桂　そう言うな。俺は、五両
浅草　五両！？
桂　どうだ？一席
世良　賭け事はせん！
浅草　世良さん、どうだい、五両あったら、あのお駒って女、身請けも出来るだろうよ・・・

世良　何!?イヤ、お駒は俺のことを嫌いと。そのような男と添い遂げるのは、お駒にとっても

浅草　どうせ死ぬんだ、身請けしたからって、ほとんど一緒にいるわけでもねえだろ?

世良　寂しいことだ・・・何の意味がある!

浅草　おいおい、旦那、シケたこと言ってんじゃねェぞ。惚れた女の為に一肌脱ぐってのは乙なモンじゃねえか。言っとくが。あんたが本気で惚れていたのはよく解ってるんだ。

世良　それは・・・そうだが・・・

浅草　明日が無ェ、世良さんだからこそサ。身請けして、遊郭から連れだしてやれよ。あの娘だって、好き好んでいるわけでもあるめェ

世良　そうか。俺があの籠（かご）から、逃がしてやれるのか

浅草　銭さえありゃな

世良　それは・・・!

浅草　最後くらいかっこいい真似してもいいじゃねェか。そこの旦那。こっちの金はほんのちょっとだが、この浅草屋宇一郎の全財産、賭けてやる。やってやれ、世良修蔵。男を見せてやりな!

世良　・・・!浅草屋!

浅草　へへへ。サア、サア、サア、サア!よろしゅうございますね!入りますよっと、はい、つぼ!さあ、張った、張った!

世良　・・・半!!

桂　丁

浅草　丁半コマ揃いました、勝負!・・・ピンゾロの丁!

世良　知ってた

浅草　オトコとして、弱ェなァ

世良　待て、六文だけ残しておこう!なぁ・・・!

浅草　ほら、持ってきな

世良　あ!!

銭の袋を投げる浅草屋。悲しそうな世良

世良　くそっ、また無一文。なぁ、せめて、六文だけこっちにくれないか!!

桂　六文?

世良　お願いします!!

浅草　情けなッ!

桂　構わん

世良　本当か!?

桂　そのはした金もいらん
浅草　本当か！！？？

銭の袋に駆け寄る浅草屋

桂　その代わり、その生首。貰い受ける
浅草　！？
世良　俺を・・・？
浅草　オイオイ、ふざけんな。首ひとつかけた賭け事なんざのったつもりはねぇぞ
桂　大人しく渡せ
浅草　やなこった・・・！テメェみたいな素性もわからねェ奴に・・・　渡してたまるかってんだ！！！
世良　浅草屋・・・
浅草　テメェも、一儲けするつもりだろォォォ！！
世良　「も」ってなんだ！！
浅草　言ってやれ、世良ァ！
世良　見世物ならお断りだァァァ
桂　・・・奥羽諸藩は大慌てだ。勢い余って討った世良の首が無くなった。あまつさえ、その首が見世物小屋、遊郭、賭場とハシゴしていると
浅草　世良さん、名売れてきたな、もう一発、見世物で稼ぐかい？
世良　目ェ、つけられてんじゃネェかぁ！！！派手なことばかりするから！
浅草　ドンペリはお前のせいだ！
世良　俺の馬鹿ァァァァ！！
桂　大人しくその首を渡せ！
世良　奥羽諸藩が俺の首を狙ってるってことは・・・
浅草　少なくとも、お前さんにとって良いことにはならねェだろうなァ・・・
世良　頼む、浅草屋！！
浅草　・・・よし、さっきの5両をこっちに投げてよこせ！
桂　良かろう！
世良　おいィィィィ！！
浅草　ひ、ふ、みで交換だ・・・！ひ、ふ、み・・・よっ！

世良の首を投げる浅草屋と金を投げる桂。首を受け止める桂。浅草屋は金に目をくれず真っすぐ桂のもとに駆け寄り、刀を抜いて斬りつける

浅草　いつむゥ、なァ！イヤ、数えるまもなく、とうとう、流れるように勝負は決ま

桂　っちまったなぁ
　　貴様ッ！！

世良の首を取り返す浅草屋

浅草　そうそう友は売れねぇヨ
世良　浅草屋ァ・・・！！
桂　くそっ・・・世良くん！！
世良　！？　おい、浅草屋、浅草屋・・・！！

世良の声も聞かず浅草屋、世良を連れてはける

桂　・・・逃がすものか、世良くん。君の首が、日ノ本を変えるのだ・・・。福島藩の者共に命ずる！　世良修蔵の首、そしてその首を持つ博徒、浅草屋宇一郎を決して藩から出すでない！　必ず、必ず、捕らえよ！これは命令である。遂行せよ、遂行せよ。生死は問わない！人相書きを配れ！　犬猫畜生に至るまで、奴らを知らぬものがおらぬほどに、徹底せよ、徹底せよ！！

桂はける

六場　生首ひとつと語らうこと

場面変わり、大笹生は羽根山付近。福島藩内には、すっかり浅草屋と世良の人相書きが出回っている。山に潜む世良と浅草屋

浅草　いやぁ、あっちゃこっちゃに、オイラとお前さんの人相書き。オイラも思わず貰っちまったぜィ・・・！！WANTED！DEAD OR ALIVE！
世良　デッドオアアライブ？
浅草　捕らえる際の生死は問わず。ま、お前さんは、そもそも生首だけどな。ははははは！
世良　・・・浅草屋
浅草　・・・（じっと見つめ）腐ってきてんじゃねぇか、おまえの首？
世良　！？　本当か！？
浅草　ははは！イヤ、あんまり真面目腐った顔してるもんだからヨォ？
世良　冗談でもやめろォォ！・・・厄介事に巻き込んでしまった

浅草　気にすんな。オイラは、お前さんで一儲けたかっただけだ！
世良　お前まで追われる身に
浅草　でっけぇコトをやるためニャ、冒険をしなきゃならネェ・・・！冒険に首突っ込んだら、失敗をすんのも当たり前。こんなこたァ、いちいち気にしちゃらんねぇよ
世良　・・・お前は何かやりたいことがあるのか？
浅草　無ェ！
世良　無いのか！？
浅草　だが、自由になってやる。
世良　自由・・・？
浅草　そうだ！オイラが可笑しいと思ったことは、寝っ転がりながら、笑い飛ばせるくらいに。一等、自由になってやる。そのためニャ、そうとう冒険しなきゃならネェだろ？
世良　俺は冒険などしたことは無かった。真面目に、真面目に、正しいと言われたことを、ただこなしてきた
浅草　つまらねぇ人生だったか？
世良　命を否定してくれるな、浅草屋。それはそれで
浅草　いや、悪かった
世良　ただな
浅草　ん？
世良　・・・見世物小屋も、賭場も一度も足を運んだことが無かった。遊郭でも、酒に女も好きだったが、あそこまで騒ぎ倒したことは無かった
浅草　楽しかったかィ？
世良　・・・ああ。もう少し、生きて居ても良かったな
浅草　・・・ここまできちまったんだ。最後まで一緒に遊んでやらァ。六文もしっかり稼がなきゃならねェしな！
世良　・・・最早、福島では、どこにいっても俺たちの顔は割れているようだ。藩の境の見張りも厳しいのだろう？
浅草　六文くらいなんとかなるさ
世良　・・・
浅草　罪滅ぼしさせてくれ、世良さんよォ
世良　罪。俺を殺したことは、お前のお役目、仕方あるまい
浅草　オメェさんが、思ったより人らしかったのがイケねぇ。人に憎まれ、寝首かかれた男の正体。どんな悪なのかと思えば、籠のおなごに首ったけ、その首賭けた賭け事敗れ、なんつうか・・・人間らしくて笑えてきちまうんだ
世良　人間らしい、か。それで良いのだろうか。この時代、そんなのんきなことを言っ

ている場合では

そこに桂が現れ

桂　そのとおりだ、世良くん
浅草　おいおい、ずいぶんかぎつけんのが早ェな
桂　浅草屋くん
浅草　負けた分は、銭をしっかり置いてきたはずだが・・・？
桂　話をしにきたんだ。なぁ、世良くん・・・
世良　・・・桂、さん・・・？
桂　その名は捨てたのだが。
浅草　桂・・・??
世良　木戸さん、やはりあなたでしたか。聞き覚えのある声だった
浅草　おいおいおいおい。待てよ、木戸って・・・桂って・・・
桂　木戸孝允。桂小五郎の名の方が知れているかね？ 浅草屋くん
浅草　おい！！ なんで、そんなお偉いさんとお前知り合いなんだ！
世良　世良くんは。奥羽鎮守府総督府・参謀だよ。私の優秀な部下だ
世良　すっかり忘れてた。偉いやつだったんだっけ？
浅草　だから殺したんだろ！お前が！命令されて！
世良　エロい奴って印象に
浅草　うるせぇ！！
世良　むっつり
桂　やめてくれよォ・・・
世良　世良くん。随分と楽しそうだ
桂　・・・いえ、これは
世良　気が抜けているのではないか
世良　・・・
浅草　馬の耳に念仏、死んだ生首に説法
桂　聞く耳はあるだろう
世良　浅草屋！桂さん、申し訳ない・・・
桂　生きているならば、その生命、最後までこの国のために尽くしてくれないか
世良　そのつもりです
浅草　あ？
桂　世良くん。君には新政府からの命があるのだ。遊んでいる場合ではない
世良　・・・首一つの私で出来ることならなんでも
桂　浅草屋くん。君にも手伝ってもらいたいのだが

浅草　厄介事ですかィ

桂　厄介事。そうだな、この国に大きく影響する

浅草　・・・そういうことはどうも苦手だ。世良さん、友だちに逢えて良かったな。喋る生首と出逢えて面白かったヨ、じゃあな

桂　二十両やろう

浅草　要らねえよ。それよりこいつにやってくれ。三途の川の六文銭

世良　浅草屋・・・。桂さんが頼んでいること、この国の未来を作ることに違いない。力を貸してくれ。俺ひとりでは動くことすらままならん

浅草　なんだよ、今更になって

世良　俺の御役目、だ。新政府からの命とは何だ、木戸さん？

桂　世良くん、君には、悪役になってほしいのだ。会津戦争の引き金を引いたのは、全部君の振るまいのせいということにして欲しい

浅草　悪役だぁ！？

桂　浅草屋くん、３０両でもいい。その世良の・・・その生首を、一流の悪役に仕上げて欲しい。どれだけその人となりを、してきたことを改竄しても構わない

浅草　なんでそんなことを

桂　奥羽諸藩と戦をするためだ

世良　桂さん。私が言われたのは、会津を降伏させ、戦を避けることです。方針が変わったのですか・・・？戦争をするように、と

桂　君しか思っていなかったよ。戦を避けられるなんて

世良　そう命じられました！

桂　それで、本当にこの国が一つになれると？奥羽諸藩は、我々新政府と対等だ、なんて思っているんだ。そうではないのだと。我々の方が、残念ながら、上にいるのだと。まずはそう刷り込まなければならない。圧倒的な力でもって、日ノ本を一つにしなければならない・・・

世良　戦で、ですか

桂　ああ

世良　鳥羽・伏見の戦がどれだけ酷い有りさまであったか。同じ日ノ本のモノ同士が命を奪い合う浅ましさ・・・。木戸さん・・・！

桂　ひとつにまとめるためには必要なことなんだよ、世良くん。戦をして、会津を、奥羽をまずはねじ伏せなければ

世良　そんなことをしたら、民は

桂　そうだね、世良くん、これからの日本を創る僕らが、そんな戦を喜んでしてはいけない。国民から嫌われる真似をしちゃいけない。だから、君に、悪者になって欲しいんだ

世良　私に

桂　歴史は未来に残る。僕たちが創る新しい日本は続いていくはずだ。その時に、力でねじ伏せたなんて、とても伝えられないだろう?国民が、この国へ誇りを持つためにも、世良くん、君にすべての責任をおってほしい。頼めるね?

浅草　おいおいおいおい!

世良　・・・頼めるか、浅草屋

浅草　お前さんの命を自分たちのいいように使おうってんだぞ!!

世良　桂さん。いや、木戸さん。それは、本当にこの国の為になるんだな

桂　ああ

世良　言っただろう? この命、残りはこの国のために

浅草　残りじゃねえよ、お前がこれまで生きてきたことを全部、そうしちまうつもりなんだぞ!!

世良　構わん

浅草　おい!!

世良　ことが叶った先には、浅草屋、お前の取り分から、六文、俺にくれ。それでいい。

浅草　頼む

世良　ふざけんな

浅草　あと3日の命。思うままに使わせてくれ。頼む、浅草屋

世良　・・・本当に良いんだな。お前さんの命は、本当にそれで良いんだな。好きな女のために使うわけでもねえ、自分がやりたいことをやるわけでもねえ。この国のために、悪いやつになろうってんだな。

浅草　ああ。俺が、決めたことだ

世良　ははは、ははは!!クッソぉ、うまく笑えねェ・・・ったく・・・解ったよ!!この浅草屋宇一郎。世良修蔵の生首一つ、日本史に名を残す一流の悪役に、仕上げてやらァ!!!!

七場　世良修蔵　悪人と成ること

浅草　お前さんが三途を渡るまであとわずか!残りすくない日々だが、なんとか努力して天下に名を残す悪人になるんだ!良いか、悪人になるぞ!!

世良　え・・・?

浅草　気合入れてけよ、悪人になるぞ!!

世良　あ、あくにんになるぞ

浅草　やる気出せよォ!悪人になるぞォォぉ!!

世良　悪人になるぞォォぉ!

浅草　良し

世良　意味が分からねェ・・・
浅草　オイラの方が意味分かんねぇよ！　お前さんがそうするって決めたんだろぉ！！悪の稽古だ、世良さん！　悪といえば、悪代官！山吹色のお菓子を持ってまいりました
世良　山吹色のお菓子？
浅草　そうでございます、こちらを・・・
世良　何だそれは？
浅草　ご冗談を
世良　何だ！
浅草　いや、だから・・・あれですよ！
世良　何だ！！！
浅草　小判ですよ！小判！袖の下！
世良　賄賂か
浅草　そうだよ！！
世良　賄賂など許さん！！
浅草　馬鹿野郎ぉ！悪いやつになるんだろぉ！！
世良　！そうか、なら・・・受け取っておこう・・・。感謝する！
浅草　ダメだろ！そんな爽やかに感謝したら・・・！あ・・・もう、あそうだ！オメェさんなら、あれか、ぐふふ系か！
世良　なんだ、グフフ系とは
浅草　村娘を手籠めにして、帯をまわして、あれぇ～！ってな場面。ゲスい笑いが響き渡る。あ、やめて、お代官様ぁ～、あ～れぇ～。良いでは無いか、良いではないか、ぐふふふ！
世良　それなら出来そうだ！
浅草　自信持つなよ
世良　帯を回す腕もないがな！
浅草　じゃあ、オイラが村娘・・・あ、やめてぇ、お代官様ぁ～、あ～れぇ～
世良　良いではないか、良いではないか・・・ぐふふふ

村娘が通りかかり

村娘　浅草屋さん・・・！？
浅草　あ
世良　あ
村娘　人相書きが出回って心配してたら・・・気が狂っちまったんだねェ・・・気の毒に

浅草　いや、あのお
村娘　・・・言わないでおいてやるから・・・静かにくらしなよ・・・

村娘はける

世良　お前に任せることに限界を感じた
浅草　・・・こういう時は悪とは何か。聞いてみるのが一番良い！

見世物小屋にうつる場面

興行主　嫌われる方法ねェ
世良　いや、悪人になりたいんだ
興行主　悪人ってこたァ、人に嫌われるってこった。だとすれば、お前さんはまず見た目が悪いねぇ
世良　見た目か・・・
浅草　凹んでんじゃねぇヨ
世良　顔は生まれつきのもんだ・・・
興行主　なんというか、可もなく不可もなくって顔だね
浅草　なんとかできるか？
興行主　そりゃまぁ、出来なくはないが。その面貸しな
世良　何をする！！

舞台上で世良のメイクを始める興行主

興行主　良いかィ。この見世物小屋の奴らは嫌われモンばかりよ・・・。「悪人」ではないかもしれねェが、鼻つまみモン。それは全部、あいつらの「見た目」のせいだ。心根なんてどうでもいいんだ。・・・あたしはね、それを客に見せて笑わせて、銭儲けをしている
浅草　あんたこそ悪人かもしれねぇな
興行主　そうだね。だが、笑ってる客を見て、見世物のアイツラも笑ってるんだ。笑いの数だけ銭っこが転がってくるんだ。・・・立派な人物に見せたきゃ、立派な「見た目」をさせりゃ良い。・・・あたしはそういう人間のいうことは信用出来ないって思ってるけどね。サァ、出来上がりだ

悪人メイクを施された世良修造

浅草　お・・・
世良　どうだ、浅草屋。悪人に見えるか・・・？
浅草　そうだな・・・。随分と悪ィ顔になった。すまねぇ、助かった
興行主　アンタたちには儲けさせてもらったからね・・・　その後も！
浅草　サァ、次はっと

続いて遊郭に行く二人

世良　おい！浅草屋！俺はここに来ると心が痛むぞ・・・
浅草　商売女達は、マァ、たくさんの人に出逢ってるはずだ。嫌われる人ってのも良く知ってる
世良　俺だろ！それ、俺のことだろ！！
浅草　おまえ以上の嫌われ者なんざ、たんといるだろ

お駒出てきて

お駒　嫌われる殿ですかえ？
浅草　ええ、なんかこいう奴が嫌われるって
お駒　そりゃ、おなごの扱いが下手な殿ですなぁ
世良　帰ろう、浅草屋ァ
浅草　それ以外には？
お駒　ワッチが言うのも可笑しい話でありんすが・・・、やはり酒と女と暴力とほう
浅草　ワッチらも女ですかえ。大切にしてほしいでありんす。乱暴を働く男はイヤですなあ
お駒　なるほどなぁ。確かに酒に女にはお前さんにあるが、暴力ってわけにもいかねえか
浅草　・・・昔、いた殿方で。こんな人がありんした。ワッチらの膝に寝ながら、使者の人が持ってきた文を読み・・・それを踏みつけて突き返したと。ああいう男は悪い人でありんすなぁ・・・。結局は人となり。相手のコトを思えない人が悪人ですなぁ

舞台は最初の河原に戻り

世良　・・・どうすれば良いのか、全くわからん
浅草　・・・あんたにゃ似合わねえんだよ。第一さ

世良　そうは言っても、与えられた役目よ！
浅草　だからそういうところが、似合わねえんだって！悪役になりきれねえよ、そんなんじゃ
世良　どうすればいいんだ！
浅草　悪いことしようと思ってする人間なんていねえんだ
世良　それはそうかもしれんが
浅草　それに。体も無いんじゃ、悪事も出来ねえ
世良　・・・
浅草　イヤ、金も無えしな、盗みでもしちまうかとも思ったんだが
世良　それはイカン！
浅草　悪人になるんだろう！！
世良　人を傷つけずに悪人になりたい！！
浅草　馬鹿いってんじゃねぇ！
世良　なんとかしろ、浅草屋！
浅草　無理だ、馬鹿！

トそこに桂が入ってきて

桂　世良くん、浅草屋くん。しっかりとやっているのかい？全く僕のところには悪評が届かないが・・・？
世良　木戸さん・・・いや、すまない、私に力がない故に。まだうまくはなから期待していない。浅草屋くんに言っているんだ
桂　・・・
浅草　君が言いふらしてくれれば良いのだろう？例えば。生首の世良に命令されて、あちこちに連れ回されたのだと。生首になってからもあの男は、酒に女に暴力に。そんな男だったのだと、伝えてくれればそれですむ話じゃないか？
桂　・・・やっぱりヨォ、オイラには出来ねえ。こいつは糞真面目で世間知らずだが、決して悪い人間じゃ無え。それを貶めるなど
浅草　世良くんがそうして欲しいと言っているのにか？
世良　本心じゃねえだろ
桂　本心だ
浅草　三十両ある
世良　要らねえ・・・
浅草　頼む、浅草屋。俺のこの生命の使いみち、俺に決めさせてくれ！
世良　・・・勝手にやってろよ。オイラはオイラが気に食わねえことはやっぱりできねえ。じゃあ、な

浅草屋はける

桂　・・・失敗か。別な方法を考えなければ、な
世良　桂さん
桂　我々が悪口をまくわけにもいかないのだ。任命責任になるだろう？あくまでこの地のモノが。そして、お前と共に時間を過ごしたものが言うのが一番良いのだが・・・
世良　私は何をすれば
桂　・・・あの浅草屋に嫌われれば良いのだ。あの浅草屋に実はお前は悪人だったのだと思わせればいいのだ！それだけだろう？それも出来なくば・・・。仕方ない、大人しく黄泉に旅立つが良い。冥福を祈る
世良　！・・・実は、三途の
桂　何だ？
世良　いや、良い・・・

桂はける。舞台はゆっくりと日が暮れていく。時折聞こえる獣の声に怯える世良。満月の晩が近づく。そこに浅草屋が戻ってきて

浅草　お・・・あの男は？
世良　・・・
浅草　なんだ、ひとりぼっちか。銭はもらったのか？六文くらいは・・・
世良　・・・ははは！すべては俺の思う侭だったのだ。まんまと口車にのりやがって、浅草屋ァ！
浅草　あ？
世良　もとより、こんな田舎のことなどどうでも良かった！日ノ本のことなども興味はない！お前が俺の思うままに動いてくれたからなんとも笑える話だ！酒を喰らい、女を喰らい・・・！それもなんだ、あまつさえ、お前の銭を使ってだ！ははははは！無駄な日々を過ごしたなぁ！私は実は悪いやつだったのだァ！お前を笑ってやろう、ははははは！
浅草　下手くそ
世良　・・・
浅草　そんなに悪人になりたいのか？
世良　それがこの国のためになるならば
浅草　なんでそこまでするんだよ。お前さんの意思か？
世良　・・・我が国を守りたいと思うのに理由がいるのか？好きなモノがいる国を守

りたいと思うだけだ

浅草　・・・理解は出来ねぇ。理解は出来ねえが。お前さんの悪評はオイラが撒き散らしとく

世良　・・・

浅草　自分で自分を悪く言うなんざ、そうできるもんじゃ無えからな

世良　すまん・・・すまん・・・!!

浅草　それで後で、銭っこたんまり貰えるしな!・・・良い月だねェ・・・。月見酒と洒落込むかい？

世良　そんな銭など無いだろう

浅草　・・・ト、思うだろう?実はオイラずっと隠し持ってたんだよ。ちょっとさっき取りに行ってきたんだヨ

世良　何!!

浅草　仕方ねェ、お前さんに六文銭

世良　お前！誰から奪った!盗んだのか!?誰を殺した!!

浅草　馬鹿野郎

世良　おい！

浅草　・・・

世良　・・・お前、ちょっと前に来い

浅草　嫌なこった

世良　酒を呑ませてくれ。あるというなら

浅草　・・・

世良　刀を売ったのか？

浅草　おう。いや、もう刀がいる時代でも無くなりそうだしな！

世良　・・・おい

浅草　もっとも、なまくら刀。この酒一本と、お前さんの六文銭ほどしかならなかったよ。笑っちまうだろ？

酒をつぎ、世良に飲ませる浅草屋

世良　すまん

浅草　お前さんを。お前さんみたいな人間を。オイラは笑えるようになりてぇ。こんな馬鹿なことをって。だけど、まだ、できねえ、まだ、オイラには出来ねえなぁ

世良　・・・

浅草　世良さん・・・?世良さん・・・??

世良　・・・

浅草　おい、世良さん!世良さん・・・!!良い、満月だな・・・

世良修蔵、息を引き取る。以下、世良の首を彼の悪行を口伝しながらも、その言葉に反して手厚く葬る浅草屋。桂から銭を受け取り、寺に葬る

浅草　世良修造という男は、その奸（きも）より悪に染まりし男。卑しきモノの出にして、狂暴。礼節なく、力のままに肉と酒と女を喰らう。強いものには媚びへつらい、弱き者は下（くだ）して見る。こと、この地、奥州での錦の御旗の威光を借りし、非道な振舞とどまるを知らず。会津助命の諸藩の願い、女人の上から足蹴にし、「奥羽は皆、敵。骨まで残すな」「田舎の弱藩恐るる足らず」と戦をうながす文出す始末。この日ノ本を鑑みても、真の悪なれば、仙台藩の号をもって、この私、浅草屋宇一郎他が誅した始末。

その首は、すぐに東北各藩の元に届けられ、「顔も見ずとも良い。そのまま便所にでも捨て置け」と、嫌われる始末こそ、彼の悪事を物語る。彼への恨みは薩長への恨みへとも代わり、戊辰の戦火が奥州を、会津を焼く

山本八重、出てきて

八重　真に憎きは、世良修造よ！　この戦火を招いたのは、あの悪人。我らは正義。京の都でも武士の誇りを全うし、お上をお守りしたのみ。会津を、そして、武士を馬鹿にしたモノどもを許しはせぬ。薩長を打ち払おうぞ！

その姿を見ている浅草屋

浅草　犬畜生に至るまで、散りゆく桜に、声もせず。「會津」の国は何処へ行くか。奥羽の誇りは何処へいくか。まこと日ノ本は、「一つ」になるのかもしれねぇ・・・

暗転

終場　生首ひとつ祀られること

時代は移り、明治9年6月19日、福島藩の客宿「浅草屋」にて。明治天皇の東北巡幸に合わせて、福島を訪れた桂が浅草屋を訪ねている。

浅草　いらっしゃい、桂さん。いや、木戸孝允様か。

桂　浅草屋さん。久方ぶりだ。会津戦争の前に出逢って以来か

浅草　まさかうちに立ち寄るとはなァ、いや、政府の役人さんにとっちゃ、ちょっと狭い宿かもしれネェが

桂　陛下との東北巡幸（じゅんこう）。福島に寄らば、あなたの顔を見ないわけにはいかないだろう

浅草　オイラじゃネェだろ？本当に会いたいのは

桂　・・・あれが名に聞く、信夫山か

浅草　そんなに有名かい？

桂　私は和歌を嗜む。信夫山を詠む歌は古より多いのだ。この北窓からの風景は風光明媚（ふうこうめいび）。

浅草　元々は、神様が住んでた山。だが今や、お前さんたちの言いつけで、修験者は追い出され、仁王門は取り払われ、「神社」にされちまった

桂　時代の流れだ。あなたも自由民権運動の志士に力を貸しているそうで

浅草　あいつらが、勝手に定宿にしてるだけサ・・・。三島県令とも仲良くさせてもらってる。あの人も面白ェ男だ。「鬼」と呼ばれ、嫌われるの解っていてやってやがるよ。思い出すなァ・・・、なァ、桂さんよォ

桂　『みちのくの　しのふの里の信夫山　しのふにこえぬ君のまこころ』

浅草　和歌はよくわかんねェよ

桂　・・・あの信夫山に、戊辰の戦で死んだ新政府の７６８柱を英霊として祀る、招魂社（しょうこんしゃ）を作る予定でいる。まさしくこの国を守る、「護国」の神社となる。会津落城の日を祭日とする

浅草　信夫山も、住んでるオイラたちのモンじゃなくなっちまうんだな。いや、良い手だ。「国家」に逆らうやつなんかいなくなるだろう。血の一滴まで新政府様のモノ

桂　福島県に住む人々も、福島県の前に日本に住む「国民」である。その自覚を持ってもらいたいものだ

浅草　へいへい。生きられリャいいサ、オイラ達はな

桂　祀る英霊の筆頭は、奥羽鎮守府総督府、参謀・世良修蔵

浅草　・・・おい

桂　当然だ

浅草　手前達で殺しといて・・・！今度は神様として祀ろうってか

桂　世良殿は、この国の未来の為に死んだ

浅草　テメェらのために、殺されたんだ

桂　それは違う

浅草　・・・六文払って、極楽にいるはずだ。そっとしといてやれよ、流石にさァ

桂　敵を作らねばならなかった。この国をひとつにまとめるためには

浅草　世良さんの位牌を常に持ち歩いてんだ。オイラは。たまに、ちゃんと極楽に行け

桂　たかいって聞いてみるんだ
返事はあるか？
浅草　あるわけネェだろ。死んだらモノは言えねえもんだ
桂　そのとおりだな
浅草　死んだら動けねえ、死んだら話せねえ
桂　それでも世良は、あいつは死してこの国を変えた
浅草　会津戦争の引き金を引いてな
桂　この国を一つにした。一度滅ぼし、一つにした。・・・必ずこの国に明るい未来がやってくる
浅草　また誰かを敵をつくって、戦をして、か？
桂　いずれ、無くなるモノだ。そうでなくては、世良くんが報われない
浅草　信じるぞ、その言葉
桂　信じたいのだ、この言葉を。世良くんが死んだ場所に案内してくれるか
浅草　ああ

桂はける

浅草　桂さんがオイラの元を訪ねた翌年。明治十年、西南戦争の最中に、桂小五郎、いや木戸孝允さんは死んだ。明治十二年、そいつが言っていたとおり、信夫山に世良修蔵を名簿順位一位として、以下七六八柱の英霊を祀る招魂社が出来る。

舞台奥に、招魂社（現在の福島護国神社）に祀られる世良修蔵の首

浅草　明治十四年。板垣がいちばんはやい、自由党。翌十五年、福島事件。十八年、いやはやごくろう、内閣制度。二十二年、いち早く、帝国憲法発布する。二十三年、第一回帝国議会召集。同年、列強へ飛躍をめざし、教育ニ関スル勅語交付。そんでもって、二十五年、浅草屋宇一郎没。本庄繁長公の菩提寺、長楽寺に墓をつくってもらう。それ以降のことは、オイラには解らねぇ・・・。もしかすると、世良さんは、招魂社の社の中、また動きもできず、じっと見ているのかもしれネェ

じっと前を見つめる世良。彼の目にうつるのは、その後の歴史。現代まで続くこの街の歴史。舞台には、明治以降の様々な時代の音。声、音楽が入り混じって鳴り響く。明治、大正、昭和、そして平成まで。曲にすればたとえば『ゴンドラの唄』『福島音頭』『愛国の花』『花が咲く』など。幕が下りる。最後に幕が下りる時、最後まで流れている曲、「ケセラセラ」。言の葉の意味は、「なるようになる」。劇終